

グループで行う問題解決 ～クラスの情報モラルを高める

情報の科学 第22回授業

05情報通信ネットワークを用いた

問題解決

対応データ 20exp22.xls

グループによる問題解決 (p.158)

- プロジェクト型学習
 - 班ごとに、リーダーのもと、自分たちで計画を立て、自分たちの力で協力し進めていく学習方法
 - 自分たちで考え、自分たちで判断して進める
 - 先生のアドバイスは最小限
- 今回は残念ながら、一部作業以外はすべて「個人作業」で行います。

アンケート実習について

- 全8回、個人で行います。ワークシートにある8回分の内容を良く確認しておくこと。
- 全体テーマは「クラスの情報モラルを向上させる」とします。
- これに基づき、各自で「目的」「仮説(=提案)」「テーマ」を。
- 単なる「実態調査」や「ランキング」ではなく、自分たちの「提案」をアンケート調査で確かめ、その根拠とできるような「問題解決型」のアンケートを行うこと。
- 自分の調査について、スライドを用いた「発表」を行い、終了後、個人レポートを課します。

スケジュール等について

- ワークシートのスケジュールは「目安」ですので、先取りや平行できる作業はどんどん行って結構です。ただし、第4時に「アンケートの実施」を、また第8時にスライドを用いた発表を行います。
- クラスごとの具体的な日程や注意など、必要なデータは「提示」の中にあります。必ず目を通しておくこと。
- 授業だけでは間に合わない人は、昼や放課後に残って作業することになります。上手に段取りし、授業時間で解決できるよう段取りしましょう。

進める上でのルール

- 教えあいや助け合いは自由です。積極的に行い、互いにコミュニケーションをとりましょう。
- ただし、他の人が忙しそうに作業をしている時に様子を聞いたり、アドバイスをもらったりするなど、話しかけることはやめてください。それぞれのスケジュールを尊重すること。
- 解決できない問題は、先生に相談すること。

【重要】調査の上での注意点

- お互いに、全く知らない人同士として、態度、言葉遣いなど注意し、アンケートを依頼、協力する。
- 協力する者は、答えたくないものや失礼なアンケートには答えなくても良いというルールにします。
- 依頼する人は、いい加減なテーマや企画で行うと、回答者が答えてくれず、よってデータが集まらずに実習自体が崩壊する可能性があります。良く考えてテーマを決めること。
- また、回答を強要するような言動や態度は絶対に行わないこと。目に余る場合は失格とします。

相互評価

- 発表（8時間目）

のそれぞれの時に、「相互評価」を行います。
実施時の評価が、発表に生かされるように、
PDCAサイクルを意識して取り組みましょう。

（具体的な質問項目はワークシートを参照）

第1時：テーマ決め

目的：「〇組の情報モラルを高める」

☆クラスの「疑問」から入ると考えやすい。

• 「〇組は何で□□なんだろう？」

→ テーマ：「□□」

→ 「その原因はきっと・・・だから、△△すると良くなるのではないかなあ」

→ 仮説：「△△によって・・・が改善でき、□□に関する情報モラルが高まる」

第1時：テーマ決め

問題・・・理想と現実とのギャップ

「現実」は？ それに対する「理想」は？

さらに「具体的な現実」「具体的な理想」は？

必ずIE図を書いて、原因や解決方法を
良く分析すること！

※「自分たちで解決する」ことを前提とした、
主体的な提案を大切にしよう。